

KNグローバルリサーチレポート

2020年9月
No.53



残暑お見舞い申し上げます。

8月17日(月)の昼頃、浜松市中区では41.1℃と、国内史上最高気温1位タイとなりました。愛知県境の山を越えた風が吹き下ろすフェーン現象となりました。

表2 8月17日の浜松の気象状況

時分	6:00	9:00	12:10	15:00	18:00	24:00
気温	28.3	33.5	40.9	38.3	35.5	29.2
湿度	80	62	22	32	42	82
風向	北西	南西	西	西	西	南東
風速	1.3	2.6	5.6	64	4.2	2.1

湿度%、風速(平均) m/s 気象庁の統計より

表1 最高気温ランキング

1.	静岡県	浜松	41.1	2020年8月17日
1.	埼玉県	熊谷	41.1	2018年7月23日
3.	岐阜県	美濃	41.0	2018年8月8日
3.	岐阜県	金山	41.0	2018年8月6日
3.	高知県	江川崎	41.0	2013年8月12日
6.	静岡県	天竜	40.9	2020年8月16日
6.	岐阜県	多治見	40.9	2007年8月16日
8.	新潟県	中条	40.8	2018年8月23日
8.	東京都	青梅	40.8	2018年7月23日
8.	山形県	山形	40.8	2013年7月25日

気象庁 歴代全国ランキングより

浜松地域の平年値は、8月の湿度は76%で平均風速は3.2 m/s、2月の湿度は56%で平均風速は4.7 m/sなので、乾燥した強い熱風が吹いていたことがデータからもわかります。

経済レポート

2020年4～6月の国内総生産(GDP)は、マイナス27.8%と、リーマンショック後のマイナス17.8%を超える戦後最大の下げ幅となった。

コロナ禍での経済や企業経営などについて、様々な調査やレポートが出ている。

【しんきん経済研究所】(浜松いわた信用金庫と遠州信用金庫が共同で設立した地域経済の研究所)



・『中小企業景気動向調査(4月～6月期)』によると、静岡県西部地域の中小企業の景気動向指数(DI)は、全体でマイナス71.4と、リーマンショックに匹敵する水準となった。今後の7月～9月期の見通しも更に悪化しマイナス77.1を見込んでいる。

・『新型コロナの個人消費への影響』では、総務省の「家計調査」より、浜松市内の2人以上世帯の3～5月の平均支出金額を2019年と比較し、1世帯当たりの支出金額合計は330,178円から289,520円と40,658円減少しており、品目別分類で見ても、「教養娯楽サービス」が17,323円から8,817円に半減、「被服及び履物」も13,947円から7,398円に半減、「外食」が12,461円から7,116円へ4割減、「鉄道運賃」が3,036円から27円へ激減している。

・『新型コロナと製造業の経営上の問題点』では、75.8%の企業が「売上げの停滞・減少」を上げている。

【静岡経済研究所】(一般財団法人)



・『静岡県版 景気ウォッチャー調査(2020年7月)』では、「最悪期は脱したが第二派の懸念から悪化判断が継続」、「家計消費関連では客足が戻りつつあるが感染収束の見

通しが立たず、事業所向けビジネスは営業活動の制約から受注量が減少している」としている。
 ・『**新しい生活様式**』下における**県内小売・サービス業の実態調査**』によると、5月の売上げは前年の4割で、6月も5割程度しか戻っていない。

売上げ確保のために実施したことは、「感染防止策の徹底（59.2%）」、「SNSによる情報発信（19.9%）」、「割引・値下げ（17.8%）」、「テイクアウト商品の販売（11.3%）」等で、効果があったものは「インターネット等による通信販売（52.0%）」、「入店せずに見えるサービス（50.0%）」、「宅配サービス（41.7%）」となっている。

今後の事業の方向性は、「これまでどおりの方法で事業を継続させる（43.5%）」、「状況が好転するのを待つ（37.4%）」である一方、「廃業や倒産の可能性もある（22.6%）」、「業態転換をする（5.6%）」もある。また、「新規事業に参入する好機と捉え、事業拡大を図る」は2.7%であった。



【静岡財務事務所】（財務省東海財務局）



『**静岡県内経済情勢（8月4日）**』によると、「厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きが見られる」としている。

【商工中金】



『景況調査(2020年6月調査結果)』では、景況感の先行きについて「悪化」と回答した割合が多い業種は「電気機器（67.5%）」、「印刷（63.6%）」、「鉄・非鉄（62.2%）」で、少ない業種は「食料品（29.3%）」、「建設業（38.6%）」、「輸送用機器（39.6%）」となっている。「新型コロナウイルス感染症の経営上の対策」として、約7割の企業が「金融機関からの借入による資金調達」を行い、約6割の企業が「給付金・助成金・納付猶予などの公的対策の活用」を行っている。

【日本銀行静岡支店】



『**最近の静岡県金融経済の動向**』の預金

と貸出を見ると、コロナ感染以後、資金需要が伸びていることがわかる。

表 日本銀行静岡支店の当座預金取引先の県内所在店への貸出

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	月末残高
都銀	0.8	0.8	1.3	6.8	16.7	44.5	45.0	15,270
地銀	▲2.7	▲1.0	▲0.8	▲1.9	0.4	1.6	2.0	87,989
信金	▲0.7	▲0.7	▲0.2	▲0.5	0.5	3.2	4.6	39,941

単位：対前年比%、億円

執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士
 （公社）子どもの発達科学研究所 事務局長

浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org